

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

ベトレヘムの風

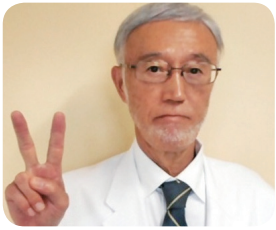
発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.82

『ご先祖さまのショートスティ』

院長 青木 信彦



7月になりました。東京ではお盆の季節ですね。

お盆になると亡くなった先祖のみなさんが一時帰宅してショートスティするという微笑ましい風習があります。死後の世界について何も知らない私

たちにとって、亡くなった先輩から、あの世の情報を得る唯一のチャンスです。この際、たくさん聞いてみましょう。

質問1 死んでいくときのことを覚えていますか？

質問2 毎日の生活はいかがですか、なにか足りない物はありませんか？

質問3 お仕事はしているのでしょうか？

質問4 やはり、そちらでも高齢者の大切な「3K」は「健康・家族・カネ」なのでしょうか？

などなど、たくさん聞いてみたいですね。

ベトレヘムの園病院ではたくさんの方々のお人生最後のお世話をしています。そんな仕事にとっても勉強になるテレビ番組がありました。

それは「**老衰のメカニズムに迫る**」です。(NHKスペシャル 2015年9月放送)

●老いとともに、体が食べ物を受け付けなくなっていくのはなぜか。

⇒老化に伴う細胞の減少が臓器の萎縮につながる。

⇒小腸内のじゅう毛やその周りにある筋肉が萎縮すると、栄養素を吸収できなくなる。

●人は亡くなるとき苦しくはないのか。

⇒自然の経過に任せれば、苦痛のない穏やかな最期を迎えられる。

⇒低栄養・脱水状態に陥ると、鎮痛作用が働く。

⇒脳がもう回復できないと判断すると、意識レベルが下がり、深い眠りに陥る。

●人には生きる力だけでなく、死ぬ力もあるのではないか。

最後のケリ・トーマス先生 (イギリス、Hull 大



学) のコメントは印象的です。

私たちは死を拒否し、永遠に生き続けられるかのように思いがちです。

●死は負けではない、受け入れるものです。

安らかに死ねないことが負けなのです。

●死を否定することは人生を最大限生きていないからです。

死に向き合うことで、人生は豊かになるのです。

●死ぬときが来たら、死ぬ以外にやり残したことがないように生きなさい。

このテレビ番組を見終わって、当院のシスターの言葉を思い出しました。

ベトレヘムの園病院 1F 病棟で 99 歳の患者さんが亡くなった時のことです。長い闘病の末、身体のすべてを使い果たし、一滴も残すことなく、この世を去りました。



翌日の病棟ミーティングでシスターの話

『今、多くの高齢者は「ピンコロ」を望んでいる。悪いことではないが、これでよいのだろうか。昔から私たちは、老人がおとろえ、動けなくなって、息絶えていく姿をみてきた。』

若い人たちが「こうして人は死んで行くものである」ということを身近かに見て知って、生きることの意義を考えた。私たちはこの繰り返しを当然のものと受け入れてきた。老人のなすべきことの一つは、「自分の死に様、死に際、死に行く姿」を若い人たちに見せることなのです。そして、これが人間の営みなのだと、教えることなのです。』

これは死について語ることを避けがちな私たち日本人みんなでも共有したい話でした。

みなさんも今年のお盆には家族そろって、ご先祖さまが私たちに教えてくれたことを思い出してみましょう。

その際に、ご高齢の方(青木も含めて)は自分の死を受け入れる心の準備も始めてはいかがでしょうか。

また、自分が終末期になった時に延命治療を受けるかどうかについてもはっきりと意思表示しておきましょう。きっと、今の自分の生き方が一層豊かになるでしょう。

こんにちは!

言語聴覚室です

言語聴覚士 額川・常盤

言語聴覚士(ST)は、主に脳血管系の疾患により、言葉が出づらい、ガラガラした声、声が小さいなど、コミュニケーションが取りづらくなった方に対して、言語訓練を行っています。また、食べ物が食べづらくなった、食事の時にむせやすいなど、食事の飲み込みが難しくなった方に対して、摂食嚥下訓練を行っています。

平成29年6月23日24日、島根県松江市にある、くびきメッセにて第十八回日本言語聴覚学会が開かれ、当院からは言語聴覚士2名が参加させていただきました。

学会では、発表以外にも書籍コーナーや企業展示もあり、企業展示では、患者さんのためにサンプルを沢山いただきました。そのほか失語症、高次脳機能障害、構音障害、嚥下障害など様々な疾患に対してのアプローチについての発表を聞くことが出来、充実した時間を過ごすことができました。ランチョンセミナーでは、島根の特産物たっぷりのおいしいお弁当をいただきながら、最新研究の講話を聞き、良い刺激を受けました。今後の臨床に役立てていきたいと思ひます。



入口の看板です。わくわく♪



出雲空港到着!正式名称は「出雲縁結び空港」

会場のくびきメッセです。大きくてきれいな会場。



書籍コーナー。興味深い書籍がいっぱいです。



いただいたサンプルです。ありがとうございました。



ランチョンセミナーでの食事です。

永年勤続表彰を受けて

☆2年余りに大病をした時は、このような栄えある式典に参列できるとは夢にも思っておりませんでした。生き長らえて得たこの機会には忘れられない思い出となると思ひます。

振り返れば、入職して前半の10年は苦難の多い期間でしたが、後半の10年は少しずつ周りを見て仕事出来る余裕も生まれました。これからの10年は、今までの経験を活かし、花開かせる期間であると自分に言い聞かせております。皆様の力をお借りしながら、誇りある慈生会の一員として、謙遜の心を忘れずに努力してゆきたいと思ひます。

(20年・菊池 誠)

☆この度、ベタニアの家創立記念ミサに参加させて頂き、永年勤続のお祝いまでして頂き有難うございます。勤続20年の間に病院建物の新築などなかなか体験出来ない事など経験させてもらい、長いようであつという間の日々でした。そして勤続出来たのも共に働く皆さんの支えや助けがあったからだ大変感謝しております。



今後も社会福祉法人慈生会ベトレヘムの園病院の職員として勉強し一步一步進んで行きたいと思ひます。(20年・松村 義則)

☆ベトナムから日本に来て今年で33年、そのうち20年を病院の営繕で働かせてもらい神様と皆さんに感謝しています。今の仕事はとても楽しいです。これからも定年まで仕事を頑張っていきたいと思ひます。ありがとうございました。(20年・竹内 勇)

♡歴史を感じる素敵な聖堂の中は、身も心も引き締まるような気持ちになりました。ミサでは、神父様からフロジャク神父様の色々なお話を聞かせて頂き、本当に沢山の困難の中、ご自身の想いを形にされてこられたのだという事をあらためて感じる事ができました。

私も10年の表彰をして頂き、表彰をして頂く事などめったに無い事ですので、ちょっぴり誇らしい気持ちになりました。これからもベトレヘムの園病院で精一杯頑張つて参りたいと思ひますので、どうぞ宜しくお願い致します。(10年・増田 千晴)

病院や施設との上手なつきあい方

～最期まで自分らしく生きよう～

医療相談室 医療ソーシャルワーカー
大和 理恵

今年度第一回は、趣向を変えて今からでも準備しておくことなど少しでもお役に立てる情報を提供させていただきました。私の仕事・職種は医療ソーシャルワーカーです。

医療ソーシャルワーカーの多くは、病院や訪問診療をやっているクリニックなどの「医療相談室」または「地域連携室の中の相談係」で仕事をしています。相談室では、

- 治療が終わって退院を迫られている。すぐに家に帰るのは心配なときどうする？
- 家ででの生活が難しくなり、病院や施設を探している
- 何か社会制度を利用できないか。その手続きの方法は？
- 入院費がかさみ家計を圧迫。何か助成制度などはないか 等々

入院中や外来で不安に思っていることを伺い、一緒に考え、解決していくことなどのお手伝いをしています。

併せて必要な情報発信も行っています。気軽にお声がけください。

入院後早いうちに転院先や施設を検討しなければならない時の選ぶポイントをいくつか紹介しました。

- ①一番お見舞いに来られる方の自宅や職場への交通の便の良いところ、またはそれぞれのご家族の中間地点
- ②少し先を見越しての費用の準備。トータルでいくらか。どのくらいその支払いを続けられるか。
- ③一件だけではなく数件見学し、環境や感触のいいところの選択
- ④急変時の対応は病院・施設によって対応が様々なので事前に確認
- ⑤リハビリテーションのやり方やスタッフの配置の確認（夜間帯など）

すべて理想通りにはいきませんが、「ここだけは譲れない！」が叶う病院・施設を選択していきましょう。



次に最期まで自分らしく生きるため、元気なうちから準備しておくための情報を提供しました。

ひとりの時、急に倒れて意識がない！誰かに自分の身体のことを、希望する延命治療のことを伝えることはできません。

普段から準備しておくことが大切です。

清瀬市では「救急情報シート」、所沢では「救急医療情報キット」というのがあ



はご存知ですか。自分の持病のこと、かかりつけ医、内服している薬、緊急連絡先など記載できるシートです。65歳以上の方、障害のある方で希望者に自治体より配布されます。普段から備えておくことで、かかりつけ医へ救急搬送や、救急車で搬送された先の病院で、ご本人の基礎情報をもとに、かかりつけ医に問い合わせることができるなどメリットがあります。また家族への連絡もスムーズです。記入ポイントは鉛筆を使うことで随時変更することができます。最低年一回誕生日に…など決めて記入している内容に変更はないか見直しましょう。

外出時に備え、定期券入れや、携帯ケースなど調べやすいところにこのようなメモをつけておき、医療情報シートのコピーや、どこまで延命治療を希望など入れておくといでしょう。



最後に自分・家族が「その人らしく生きるためにできること…」を医療ソーシャルワーカーの目線で2つお伝えしました。ご参考にしてください。

①医療的な決断をすぐ行わなければならない時

一呼吸おいて「その人らしくいられる方法」を検討してみましょう。家族・親類または信頼のおける相談者(友人)と頭を寄せあう時間は大切です。

(例：人工呼吸器を装着するか否か 等々)

②人生の終末期を家族で決めなければいけない時

日記や、書面で残している場合、ご本人が YES・NO 程度なら気持ちが伝えられる場合はできるだけご本人の気持ちを尊重しましょう。

(例：食べられなくなった時、点滴や経管栄養どこまで行うか 等々)

書面や意思表示が難しい時は、日頃から話していた事、大事にしていたことなどを思い返し尊重し決断していきましょう。



平成28年度 決算報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

事業収支計算書 (単位:千円)

収益の部		費用の部	
介護保険事業収益	176,868	人件費	620,882
医療事業収益	688,080	事業費・事業費ほか	148,672
経常経費寄付金収益	697	減価償却費	48,505
サービス活動外収益	4,755	サービス活動外費用	21,254
特別収益	736	特別損失	27,049
<収益合計>	871,136	<費用合計>	866,362
		<当期損益>	4,774

資金収支計算書 (単位:千円)

収益の部		費用の部	
介護保険事業収入	176,868	人件費支出	627,375
医療事業収入	688,080	事業費・事業費支出ほか	169,919
その他収入	5,449	施設整備等支出	82,780
施設整備等収入	951	施設整備等収入	951
その他の活動収入	0	その他の活動支出	203,210
<収入合計>	871,348	<支出合計>	1,083,284
		<当期収支差額>	-211,936

[コメント]

- ①診療報酬改訂後の厳しい収入環境下でも、ほぼ前年度並みの収入額を確保できた。
- ②積極的な役職者登用とスタッフ数の充実を進め、人材への投資を積極的に行った。
- ③借入金の前倒し返済と将来の投資に備えた積立を行った。本業での資金収支は約1,500万円の黒字を計上。

ひふの話

その 35

市川 雅子(皮膚科医師)

かん せん 乾癬

今回は乾癬についてです。音だけ聞くとうつりそうな感じがしますが、この病気はうつりません。昔の日本には少なかったのですが、戦後、食事が欧米化してから、つまり動物性脂肪をたくさんとるようになってから患者数は増えています。

乾癬は、乾癬素因という体質を持っている人が、ストレスや暴飲暴食、睡眠不足、などをきっかけに発症する病気で、赤いカサカサした特徴のある皮疹が全身に出てきます。かゆみはあっても無いこともあります。何も皮疹が出ていない皮膚を引っ掻いたりして刺激を加えると乾癬の皮疹が出現することがあり、ケブネル現象と呼びます。治療には、副腎皮質ホルモン剤や

ビタミンDの入った塗り薬、紫外線療法、ビタミンAや免疫抑制剤の内服、生物学的製剤、などがあります。治療によりコントロールはできますが、慢性皮膚疾患であり、定期的な通院が必要です。通院が面倒だと言って治療を中断してしまう人がいますが、これは実は大変危険なことです。治療の中断によって乾癬がいきなり悪くなり、全身が真っ赤になったり関節炎をおこすことがあります。そうなると多くは入院治療が必要になります。

日常生活では、化繊の肌着をなるべく身に着けない、入浴時こすりすぎない(石鹸をよく泡立てて綿のタオルとともにそっと洗います)、食事は動物性脂肪の摂取量を減らす(和食が良いようです)、アルコールも控えめにする、睡眠不足を避ける、風邪をひかない、禁煙する、などに留意します。糖尿病などの基礎疾患がある人は、そのコントロールが悪くなると乾癬も悪くなる傾向があります。皮膚科医と相談しながら病気とうまく付き合っていくことが大切です。

お知らせ

公開健康講座 平成29年7月20日(木) 午後2時～ 会議室にて
『ビタミンの美味しいとりかた』
～疲労回復元気の出るビタミン～
講師：後藤薬剤師、廣瀬管理栄養士
入場無料です。講座終了後に健康相談も実施します!



聖母被昇天 祈りの集い
平成29年8月15日(火)
当院「祈りの間」にて

集いへのご参加を希望される方は「パストラルケア室」までお問い合わせください。



編集後記

少し早目の夏休みを頂き、二つの港町、神戸・博多を訪ねる機会を得ました。

この前後、福岡は大変な豪雨と土砂災害に見舞われ、今なお行方不明の方がいらっしゃるということです。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。神戸の街は22年前の震災を乗り越え、華やかさを取り戻したかのように見える一方で、一步路地に入ると時が止まったかのような場所に遭遇しました。綺麗に

された部分だけで判断する危うさに気付かされた経験でした。福岡も博多の街を見るだけでは、テレビで観る豪雨災害の爪痕を目にすることはありません。私達は目にした情報のみで判断してしまう癖がありますが、その先にあるものに対する想像力を鍛えなければ、本質は見えて来ない。そうした自覚を促される旅にもなりました。とはいえ、どちらの街も美しい景色と美味しいものに溢れた素敵な街、また是非訪れてみたいです。(M・K)